



分列行進 — 消防団の勇姿の見せどころです

## 「村を守る」その使命を胸に — 村消防演習

# 火消しの心意気ここにあり

平成十六年度の村消防団（道合政喜団長）の消防演習が四月二十五日、普代中学校グラウンドを主会場に開催されました。規律訓練、消防操法訓練では、各分団がそれぞれ夜遅くまで練習してきた成果を披露。普代川で行われた放水訓練では、「火消し魂」を表すかのように、水柱が空高く伸びていました。

## 無火災の村に決意新た

消防演習は午前七時半から消防団員百五人、婦人消防協力隊（大上澄子隊長）四十五人、役場自衛消防隊（隊長、榎屋伸夫普代村助役）二十五人、タンク車、ポンプ車など車両十台が参加し、普代中学校グラウンドを主会場に行われました。

演習では、小隊・中隊訓練、ポンプ操法訓練など、練習の成果を披露。老人クラブ会員や少年消防クラブ、幼年消防クラブも特別参加し、火災の無い、安心して住める村づくりに決意を新たにしました。統監の深渡宏村長は「世の中はいろいろな事態が起こっ

ています。村民一丸となって村を守りましょう」と訓示。続いて消防団員ら功労者八十人を表彰し、三月十二日、岩手県民会館で開催された平成十五年度岩手県消防表彰式で表彰された十九人の表彰披露も行われました。

講評官の久慈地区広域行政事務組合消防本部の兼田貞男消防長は「本日の各種訓練は、訓練例式の基準を忠実に実施しており、団員の士気も旺盛、誠に優秀。今後とも安全、安心な地域づくりのため、一層精進してほしい」と激励しました。表彰、表彰披露された方々は、左表のとおりです。



40年勤続で表彰を受ける  
中村好宏分団長